

平成28年度 医療放射線防護連絡協議会年次大会
第27回「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」の開催
主 催：医療放射線防護連絡協議会

当協議会の年次大会は、高橋信次先生の名前と古賀佑彦先生の名前を冠に、毎年12月の第2週の日曜日に「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」として開催致しております。

今回は、「医療関係者が知る放射線の生体応答と放射線防護」をテーマに開催します。

高橋信次記念講演は、ICRPが2015年に刊行した「Stem Cell Biology with Respect to Carcinogenesis Aspects of Radiological Protection」をまとめた丹羽大貫先生から、「がん化における放射線の役割と幹細胞」の講演を頂きます。また、教育講演は、島田義也先生から医療関係者も関心の高い「最近の胎児・小児に対する放射線影響」を頂きます。午後からの古賀佑彦記念シンポジウムでは、「新たな生体応答から見た医療放射線防護」をテーマに、3名のシンポジストと、総合討論において「幹細胞生物学など新たな放射線の生体応答と医療放射線防護を考える」をテーマに、講演者と参加者の皆様とで討論頂きます。

医療では、幹細胞を利用した再生医療も進展しており、幹細胞の知見から放射線によるがん化のメカニズムなどの解明により、新たな医療放射線防護の発展が期待できます。多くの関係する皆様のご参加をお願いします。

日 時：平成28年12月9日（金） 10時～16時30分

場 所：国際交流研究会館 国際会議場

東京都中央区築地5-1-1（国立がんセンター内）

（プログラム）10:00-

開催の挨拶：佐々木康人（医療放射線防護連絡協議会会長）

総合進行：菊地 透（当協議会総務理事）

1. 教育講演 10:10-11:00（講演時間40分）

座 長：五十嵐 隆元（総合病院国保旭中央病院）

演 題：最近の胎児・小児に対する放射線影響

講演者：島田義也（量子科学技術研究開発機構、放医研）

2. 高橋信次記念講演 11:00-12:00（講演時間50分）

座 長：佐々木康人（当協議会会長）

演 題：がん化における放射線の役割と幹細胞

講演者：丹羽大貫（放射線影響研究所）

昼休憩（12:00～13:15）

3. 古賀佑彦記念シンポジウム 13:15-15:00（講演時間各30分）

テーマ「新たな生体応答から見た医療放射線防護」

座長：菊地 透（当協議会総務理事）

1) 幹細胞研究の基礎から今後の展望

余越 萌（京都大学 iPS 細胞研究所）

2) 幹細胞研究における放射線影響の解析

今岡 達彦（量子科学技術研究開発機構、放医研）

3) 幹細胞から見た医療放射線防護の展望

大野 和子（京都医療科学大学）

休憩

4. 総合討論：15:15-16:25

座長：大野 和子（京都医療科学大学）

テーマ：「幹細胞研究など新たな放射線の生体応答と医療放射線防護を考える」

5. 閉会の挨拶：菊地 透（当協議会総務理事）

◆参加費： 5,000円（懇親会：6,000円）

◆申込方法： FAX. または Eメールでお申し込みください。

◆申込先： 医療放射線防護連絡協議会

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45 日本アイソトープ協会内

Fax： (03)5978-6434 電話：(03)5978-6433（月・水・金）

E-mail：jarpm@chive.ocn.ne.jp